



節分

代沢つ子だより



令和7年2月1日発行

代沢ききょう保育園
澤原 满美

2025年の節分は2月2日の日曜です。

今年も幼児さんが自作の「こわ~い鬼の面をかぶって、各クラスをまわりました。毎年たんぽぽさんの数名が涙でいますが、今年も涙でした。

鬼はそと~、福はうち~と大きな声を発するだけでも気持ちがすっきりしそうですね。幼児さんは鬼役のわくわく感が味わえたと思います。以前は本当の豆をまいて食べたりもしましたが、近年、保育園では誤飲防止の為、本物の大豆は使えなくなりました。昔は、上を向いて豆を投げて食べたりもしましたが、今となっては信じられないな。伝統を大事に引き継ぎたい思いと、時代に合った危機管理の狭間で悩みますが、安全を優先で考えたいと思います。



おめでとう集会



おめでとう集会は毎年1月の初めに0歳児～年長さんまでが参加し、一人ずつが和太鼓に触れる日です。最初は職員の太鼓です。太鼓の音が大きくて、子供達も慣れている様子で、じっと見入ったり、リズムを口ずさんだり、身体を揺らしてリズムを取ります。自分の順がまわってくると、迷いなく叩き始めるお子さん、音を数回ならして、さっと立ち去るお子さん、力いっぱい叩き続けるお子さんと様々です。



ききょう遠足 生田緑地

今月は最後のききょう遠足でした。16名全員で遠足に出かけることができました。駅から公園までもそれなりに距離はありました。普段散歩でも歩きなれているため、行きかえりの道中も頑張って歩いていました。公園では特に遊具のない広場でもそれぞれやりたい遊びを見つけ仲間を説いてあそび、「まだまだ遊べるよ!」「帰りたくない!」と。とは言いつつ、「ゆりさんとふじさんは今何をしているかな?」と気にしている様子もみられました。さすがききょうさんです。

なぜ、同じ動きを繰り返しあこなうの?

乳幼児期は同じあそび、動きを何度も繰り返しあそぶ姿がみられます。自分の体や手指を使い、「これくらい力を入れるとこうなる」「こう積み重ねると倒れにくいな」など、言葉では発信しなくて、応用パターンを学んでいます。何度もくりかえすことで、脳神経回路のつながりが強くなるそうで、後の学習や活動に活かしていくことができるそうです。

